

通いの場

1月7日は、今年初めての通いの場です。30名の参加がありました。この日は琴の演奏と正月遊び「福笑い」を楽しみました。できあがった表情を見て、皆さん大爆笑。今年も、大きな福が来そうです。

琴は、坂本達子さんと田中恵子さんによる共演。「春の曲」メドレー、「明日があるさ」「大きな古時計」など、お二人の迫力ある演奏に皆さん聴き入っていました。



《2月の予定》

- ◇2月4日(水) ミュージックケア・誕生会
- ◇2月18日(水) 講話「暮らしの中にある危険」・フルート演奏
- ◇2月25日(水) 歌と音楽鑑賞・ビンゴゲーム

【参加者募集】

通いの場では、新規の参加者を募集中です。いつまでも元気に暮らせるよう、一緒に楽しく介護予防に取り組みましょう。概ね80歳以上の方が対象ですが、75歳以上の方も相談にのります。参加希望の方は、川合まちづくりセンター内、担当石田富美子(電話82-5124)迄ご連絡ください。通いの場に来て、楽しい時間を過ごしましょう。

川合地域ささえあい協議会

伝承します川合の文化財

川合町文化財めぐり⑤ 伊藤静絵

忍原峽 ②

極楽岩 滑かな感じからこの名を付けました。地獄淵 極楽岩と対照的な感じから、この名を付けました。以下は昔から伝えられる名です。

鬼の石板 切り立った岩に文様があり、鬼が字を書いたように見える。字を書いたという伝承もあり。

絶峰谷

大屋の鬼岩の前鬼とともに役行者に仕えた後鬼王はこの谷に生まれた。この鬼は、大悪無道で人々の仇になる者を喰ってしまった。この鬼に恐れをなし世を忍ぶゆえに忍原と言うと伝えられる。

一の渡、二の渡

1556年の毛利・尼子の決戦(忍原崩れ)で毛利が大敗したのは、中心がこの地であったと伝えられる。尼子軍は毛利軍をこの地に誘い込み、岩石を落とした。

亀谷城跡

この地に城があったと伝えられる。忍原崩れで川副常重が指揮を執ったのはこの地であったのかも思われる。

お悔み

12月・1月に亡くなられた方

- 南 三好 佐智榮 様
- 神領一 松田 邦夫 様
- 浅原 根宜 千津子 様
- 程原 菅 英子 様

謹んでお悔み申し上げます

香典返し

- 南 三好 邦博 様
- 神領一 松田 章敬 様
- 浅原 根宜 一 様

3名の方より、香典返しに代えて金一封のご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。 (川合地区社会福祉協議会)

お知らせ

◇川合町ふれあいカフェ

日時 2月16日(月) 10時~11時半  
場所 川合まちづくりセンター  
内容 DVD「ココロ屋」  
講師 講演「こどもの権利条約について」  
おたふれあい会館  
館長 中島シゲ子 氏

◇第42回川合町みまもり健康ウォーク

日時 3月1日(日) 13時~  
(12時半受付)  
集合場所 川合まちづくりセンター  
行先 未定

たより

新年のご挨拶

2026年、令和8年、午年、新年おめでとうございます。

川合町の皆様方におかれては健やかに新年を迎えにいられたこと、お慶び申し上げます。

旧年中はセンター事業遂行に、ご理解とご協力をいただきましたことに、心からお礼を申し上げます。

南地区にある川合神社周辺では、昨年度に引き続き、今年度は、国道375号の反対側、川合小学校側でもさらに発掘調査されており、遺物がたくさん出土、3月ぐらいまで調査が続くように伺っております。出雲風土記にも記載されている「石見国安濃郡川相郷」のいにしへの繁栄ぶりや、物部氏との強いかかわりを想像される方は、たくさんおられると思っております。

さて、この川合町は、教育の町、川合とよく言われます。令和6年4月からは、池田小学校が川合小学校と統合しております。これまで、地域から小学校へのかかわりとして、学校運営協議会、教育振興会、町民運動会の共催、川合小学校緑を育てる会、爺ちゃんクラブ、みまもり活動、地域安全マップ作り・非常食づくり、こいのぼりの設置、川遊び大会の実施、夏休み夜間パトロール実施など枚挙にいとまがありませんが、逆に敬老会や通いの場に参加しての福祉教育、まち探検など、小学校から地域に出かけていただくことも多くあ

ります。このように小学校と地域が、お互い、連携、協力し、川合の教育の質を深めておりますが、もちろん代々の教職員をふくめ、先生方には熱心に川合の教育に当たっていただいております。

その川合小学校が、令和11年4月から統合されてなくなる、それが当然のように言われる方が増えつつあります。令和6年6月に終了した「大田市学校のあり方に関する、計画等検討委員会」の委員会会議録での教育長発言には、「この案は決定ではなく、たたき台として地域と協議していきたい。大田市民の皆様と話し合っていきたい。」とあります。一昨年11月に、まちづくりセンター集会所において、教育委員会から町民に対し「速やかに地元等との協議に入る」と説明をされましたが、残念ながら、いまだに、地元協議はありません。

川合小学校の存続は今後の地域のありようによる大きな影響を与えることであり、保護者への「このままの川合小学校ではダメ、どうしようもない」といったあきらめ感づくりや、なし崩しの統合ではなく、地域づくり、まちづくりをはじめとした、さまざまな観点から、いろいろなご意見をいただいたうえで、教育委員会において、さらに最終的には、市議会において、決定されるべきものと考えます。

小学校は小さい学校と書きます。中学校や高等学校、大学は、中、高、大という言葉がついておられますので、文字通り、広い地域を対象としても問題ないと思いますが、小さな児童を教育する小さな学校、小学校あるいは、幼い園児を保育する保育園、こういった施設が身近な地域からなくなると、どうして、若い人が住むまち、人口増につなげることができるでしょうか。「川合町ですら」

と感じさせられる事象が多くなってくることは残念ですが、川合で頑張らずに、どうして大田市、島根県、日本の明るい発展が望めるでしょうか。昨年、大リーグでは大谷翔平選手をはじめ日本人選手の活躍が続くなどのうれしいこともありました。また、ノーベル生理学・医学賞で坂口志文氏、ノーベル化学賞で北川進氏の二人の科学者がノーベル賞受賞するというおめでたいこともありました。一方で、ウクライナとロシアの戦争、イスラエルとパレスチナの戦争など続きました。国内を見ても、青森沖地震などの自然災害、物価高や米不足によるコメ価格の高騰、石破茂首相から高市早苗首相へ政権が変わり、新たな国際的な影響も出ております。人工知能(AI)の活用や、マイナンバーカードが保証証として使われるようになったように、情報通信技術(ICT)の進歩、活用は、私たちの暮らしに、急速に、かつ大きな影響を与えています。

このような中でありますが、本年も川合まちづくりセンターは、行政事務の円滑な遂行、公民館の機能を果たすこと、まちづくり事業への支援など、町民の皆様方の福祉進歩のために努め、身近な、課題解決に向けても、皆様と共に取り組んで参りますので、皆様方にはご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

結びに、皆様の本年のますますのご健康とご活躍、そして川合町の発展を心より願ひ、新年のご挨拶といたします。

(文責 センター長 小林公司)

